

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 15 日

事業名称		きよはら児童館運営費 [きよはら児童館運営事業]													
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	児童館費	事業番号	5				
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)														
担当部署・課長名	青少年 課 青少年育成 係 課長名 石川 博隆														
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	2 - 4					
【施策名】 児童福祉の推進									総合計画書 (ページ)	59					
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)									
	周辺に住む0～18歳未満の乳幼児・児童とその保護者 →					市内の0～18歳未満の乳幼児及び児童数 (令和2年3月1日現在)									
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)									
	①児童館を、児童が遊びや行事を通じて成長できるようにする。 ②乳幼児が安心して遊び、保護者同士の交流・情報交換ができるようにする。 →					①児童の来館者数(延べ人数) ②乳幼児・大人の来館者数(延べ人数) (1)乳幼児 (2)大人									
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)									
	①児童の居場所の提供。児童向け行事の開催。ランドセル来館の実施。 ②乳幼児の遊び場、保護者同士の交流・情報交換の場の提供。乳幼児親子向け行事の開催。1、2歳児親子サークルの実施。 →					①年間実施回数 (1)児童向け行事 (2)ランドセル来館 ②年間実施回数 (1)乳幼児親子向け行事 (2)1歳児親子サークル/2歳児親子サークル									
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標							
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標					
	対象指標	①の数値	人	13,737	13,533	12,531									
	成果指標	②の数値	人	① 25,778 ②(1)1,012 ②(1)1,000	① 22,784 ②(1) 638 ②(1) 742	① 20,967 ②(1) 496 ②(1) 586									
	目 標	②の目標値													
3 経費	事業費(実績)		円	12,127,503	11,466,714	10,575,393		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)							
	財源	一般財源	円	12,110,223	10,236,114	8,874,183									
		特定財源	円	17,280	1,230,600	1,701,210									
		(うち受益者負担)	円	17,280	15,600	16,210									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0									
		所要人数(再任用)	人												
		職員人件費(再任用以外)	円	8,253,000	8,244,000	8,310,000									
		職員人件費(再任用)	円												
	事業費+人件費		円	20,380,503	19,710,714	18,885,393									
	4 環境変化等	(1) 開始年度		51 年度											
(2) 環境の変化															
児童への健全な遊びを与え、その健康を増進し、又は情緒を豊かにするため、昭和51年に東大和市立児童館を設置する東大和市立児童館条例が制定された。															

事業名称	きよはら児童館運営費 [きよはら児童館運営事業]				
担当部署・課長名	青少年	課	青少年育成	係	課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	児童館周辺へのゴミの不法投棄、児童館周辺の環境整備（草取り等）等				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：③			
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
事業協力について、毎月の行事の一部、大きい行事、クラブ活動と幅広い視野で協力依頼を行っている。					
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）				
	子育てひろばとして乳幼児親子に対応できる職員のスキルアップの必要がある。 利用者数が減少している。多方面に宣伝の必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。				
	乳幼児関係の研修への参加を促進した。 ランドセル来館利用人数の増加に伴い、利用人数が増加している。冒険遊びでの児童館ブース運営を行う。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
職員の知識向上、スキルアップのため、乳幼児にとどまらず児童館関係の視野を広げ、より多くの研修参加の促進。					
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： 児童福祉の推進					
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止				
	【取組内容】				
	資格や知識のある職員と他職員が共に活動する時間を増やし、知識の共有及びレベルアップを目指す。 利用者数を増やすため、PRの範囲等の拡充を行う。				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
職員一人一人が、レベルアップの必要性を深く理解し、知識を共有し現場に生かすようにする。 より多方面に視野を広げ、PRの拡充を図る。					